

# ライフキャリア研究における家族関連尺度 —時間・習慣・やりとりに関する簡易版尺度の有用性—

法政大学キャリアデザイン学部教授 齋藤 嘉孝

## 1 序

本稿は、家族関連の3つの尺度を扱う。3つとは「家族時間尺度」「家族習慣尺度」「家族やりとり尺度」である<sup>1)</sup>。

順に、「家族時間尺度」は、回答者が家族の成員と諸行為を通して、どれほど時間を割くかを測定する。「家族習慣尺度」は、回答者が家族成員間の関係において繰り返し実践する特性の度合いを測定する。「家族やりとり尺度」は、回答者が物品・金銭・情報・行為等を通して、家族成員と総じていかに活発に交換をしているか（もらう、あげるの両側面から）を測定する。

これらの尺度を用いて2020年と2021年において、2つの調査（以下順に、2020調査、2021調査と呼ぶ）を実施した<sup>2)</sup>。いずれも米国人成人男女を対象とした調査だった。ウェブモニター制度への登録者を対象に、インターネットを通じて配布・回収を実施した<sup>3)</sup>。

本稿では、3つの尺度それぞれについて、包括版と簡易版を示す。包括版も簡易版も、質問内容は同じ主題に拠るのだが、簡易版は設問が抜粋されており、時間的・金銭的に低コストで調査が可能である。よって、簡易版を用いて一定の結果が得られるのであれば、それを開発する意義があると考えられる。

もともと3つの尺度の包括版（より網羅的なもの）は、2020調査および2021調査以前に、筆者によって原案が作成されていた。簡易版は追って

開発され、2020調査と2021調査にて、米国人を対象に調査された。本稿の目的は、3つの尺度の簡易版を示しつつ、2つの調査結果により導かれた、信頼性係数によってそれらの有用性を検討することである。

## 2 家族時間尺度

### (1) 包括版

包括版の家族時間尺度の項目は表1の通りである。各項目に関して、それぞれ頻度と1回あたりの所要時間をたずねた。頻度は6件法で、所要時間は9件法でたずねた。

具体的にいえば、頻度は、①基本的にしない、②年に数回ほど、③月に数回ほど、④週1～2回ほど、⑤週3～6回ほど、⑥基本的に毎日、だった。

所要時間は、①30分未満、②30分以上、③1時間ほど、④2時間ほど、⑤3時間ほど、⑥4時間ほど、⑦5時間ほど、⑧6時間ほど、⑨丸1日以上だった。

表1に掲載されたように、全28項目だった。概ね、表1の左列が衣・食・住の行動に関する項目、右列が会話や娯楽に関する項目だった。

### (2) 簡易版

簡易版は表2に掲載された5項目とした。衣・食・住、そして外出、会話に絞って抜粋し、包括版での表現に、できる限りそろえた。包括版と同じく、頻度は6件法で、所要時間は9件法でたずねた。

表1 家族時間尺度：包括版

1) 一緒に夕食をたべる	17) その日あった出来事の話をする
2) 一緒に朝食をたべる	18) 何でもない会話をする
3) 一緒に料理をする	19) 一緒に日用品を買いに行く（飲食物を含む）
4) 一緒に料理の盛りつけや配膳、食事の後片付け等をする	20) 一緒に学校や進路に関することについて、準備・練習・ふり返り等をする
5) 一緒に外食をする	21) 一緒にTVやDVD等を見る
6) 一緒に飲酒を同席する	22) 一緒にゲームや勝負事をする
7) 一緒にリビングで過ごす（各自が別々のことをしていても可）	23) 一緒に近所を散歩する
8) 一緒にそうじや片付け物をする（共有部や庭など）	24) 一緒にスポーツをしたり、体を動かす
9) 一緒に屋内の装飾を考えたり、家具の整理や買い替えをする	25) 一緒に地域活動や地域のイベントに行く
10) 一緒にペットの世話や散歩等をする（関連した会話や買い物等も含む）	26) 一緒に何かを鑑賞・観戦しに行く
11) 一緒に家や庭の修理・手入れをする	27) 一緒に知人・親戚などと過ごす
12) 一緒に車・自転車等の修理・手入れをする	28) 一緒に旅行に行く
13) 一緒にゴミをまとめる・捨てに行く	
14) 一緒に洗濯などをする（アイロンがけ、干す、取り込む、畳む等も含む）	
15) 一緒に服を買う	
16) その日の身支度や格好（服装、髪型等）を見てもらう（見てあげる）	

表2 家族時間尺度：簡易版（ $\alpha = .864$ ）

1) 一緒に食事をする
2) 一緒に家を掃除する（共有部や庭など）
3) その日の身支度や格好（服装、髪型等）を、互いに見せあう
4) 一緒に買い物に出かける
5) その日あった出来事の話をする

2020調査は、2020年10月に実施された。米国成人男女、20歳未満の子を持つ親たちを対象として、インターネットを通して英文で質問紙調査が実施された。500人が有効回答数だった（有効回収率95.3%）。

2020調査で、この簡易版が用いられ、信頼性係数 $\alpha$ は.864だった（ $n=477$ ）<sup>4)</sup>。

### 3 家族習慣尺度

#### (1) 包括版

家族習慣尺度の全項目は表3の通りである。

ここで家族習慣の意味するものを明示しておく。習慣とは、家族生活の中で、さまざまな時間・場所で繰り返し出現するものである。家族習慣とは、いわば家族成員間の関係において引き出され

る、表情 (expression)・発言 (statement)・行動 (behavior)・気構え (attitude) 等の特性である。これが家族時間の密度を左右しうる<sup>5)</sup>。

家族習慣尺度は、7件法でたずねた。具体的には、①全く当てはまらない、②当てはまらない、③あまり当てはまらない、④どちらともいえない、⑤やや当てはまる、⑥当てはまる、⑦とても当てはまる、だった。

表3に掲載されたように、全21項目である。大まかには、優しさ・自律・献身・居場所・水に流す等の表現で抽象的に整理できる。

#### (2) 簡易版

簡易版は表4に掲載された通り、5項目である。包括版と同じく、7件法でたずねた。

表3 家族習慣尺度：包括版

- 1) 私は家族のことを、直接ほめている。
- 2) 私は家族にやさしい目つきで接している。
- 3) 私は家族のしてくれたことへの感謝を、わかるように表現している。
- 4) 私は家族といるとき、笑顔を見せている。
- 5) 私は家族に対し、自分の欲求や利益を前面に出さずに抑えることができる。
- 6) 私は、家族の嫌なところが目について、変わらずに接している。
- 7) 私は家族に腹を立てないようにしている。
- 8) 私は家族内の役割や仕事分担で、他の人の方が軽そうにみえても、ずるいとは思わない。
- 9) 私の時間を「本当は別のことに使えたほうがいいのに」と思わず、家族のために使うことができる。
- 10) 私は家族に対し、その人の置かれた状況や気持ちをわかってあげようとする。
- 11) 私は家族の健康や体調のことを気づかった言動をする。
- 12) 私は、家族の話は、他愛もないことでもしっかり聞いてあげている。
- 13) 私は家族に席や居場所を譲ってあげている。
- 14) 私は、本当は自分の順番が先だったとしても、家族に順番を譲ってあげる。
- 15) 私は家族と一緒にいるとき、皆の居心地がよくなるような居場所づくりを心がけている。
- 16) 私は家族とのことで嫌なことがあっても、さっぱりと早く忘れてしまう。
- 17) 私は家族とのことで嫌なことがあっても、許す許さざるに関係なく、元の関係に戻る。
- 18) 完璧な人間でないのはお互い様なので、私は家族と嫌なことがあっても、帳消しにしている。
- 19) 仮に家族との過去の嫌なことについて聞かれても、私はすぐに思い出すことができない。
- 20) 私は家族と過去にあった嫌なことは、全て一掃している。
- 21) 私は、家族との過去の嫌なことは、口にしないようにしている。

表4 家族習慣尺度：簡易版 ( $\alpha = .823$ )

- 1) 私は家族のことを、直接ほめている。
- 2) 私は家族に腹を立てないようにしている。
- 3) 私は家族に対し、その人の置かれた状況や気持ちをわかってあげようとする。
- 4) 私は家族と一緒にいるとき、皆の居心地がよくなるような居場所づくりを心がけている。
- 5) 私は家族とのことで嫌なことがあっても、さっぱりと早く忘れてしまう。

2020調査で質問した。なお2020調査の概要に  
関しては、先に家族時間尺度の箇所で記した通り  
である。

信頼性係数  $\alpha$  は .823 だった ( $n=477$ )。

## 4 家族やりとり尺度

### (1) 包括版

家族やりとり尺度の全項目は、表5の通りである。家族成員との間で、どれほど物品、金銭、情報・知識、行為・気持ち、時間を交換するかをたずねる尺度である。各項目につき、「もらう」「あげる」をそれぞれたずねた。この尺度は、家族成員間で互いのやりとりがいかに活発になされているかを示す指標となる。

家族やりとり尺度は7件法でたずねた。具体的には、①基本的にしない、②年に1～数回、③月に1回ほど、④月に数回ほど、⑤週1～2回ほど、⑥週3～6回ほど、⑦基本的に毎日、だった。なお、金銭に関しては、一回あたりの額も記入してもらった。

### (2) 簡易版

2021調査にて、表6に掲載した13項目を質問した。包括版と同じく、どれも7件法でたずねた。またどれも「もらう」「あげる」の両側面からたずねた。

2021調査は、2021年6月に実施された。米国人男女、18歳未満の子を持つ親たちを対象とした。

インターネットを通じて、英文で質問紙調査が

表5 家族やりとり尺度：包括版

もらう	あげる
物品	
1) 誕生日のプレゼント 2) 誕生日以外のプレゼント 3) 手紙 4) 家族が不要になった物 5) 私の欲しくない物	1) 誕生日のプレゼント 2) 誕生日以外のプレゼント 3) 手紙 4) 私が不要になった物 5) 家族が欲しくない物
金銭	
6) 小遣い (生活のための仕送りを除く) 7) お年玉 (親御さんときょうだいの合計で) 8) 何かの褒美やお礼として 9) おごってもらう (自分の分の、外食や娯楽の際の支払い) 10) 何か買ってもらうときの支払い 11) 家族と一緒にするゲームや賭け事で勝ったときの支払い 12) 借金 (後で返すのが前提) 13) 生活費として (仕送りを含む)	6) 小遣い 7) お年玉 8) 何かの褒美やお礼として 9) おごってあげる (外食や娯楽の際の支払い) 10) 何か買ってあげるときの支払い 11) 家族と一緒にするゲームや賭け事で負けたときの支払い 12) 貸してあげる (後で返すのが前提) 13) 生活費として (家計に入れている)
情報・知識	
14) 服装・アクセサリ・髪型 15) 食べ物・飲み物・菓子・デザート 16) 部屋・家・庭 17) 健康や体調 18) 社会常識、礼儀、モラル 19) ペット 20) 趣味、娯楽 21) 情報通信機器 (スマートフォン、パソコン等) 22) 天気、気候 23) 家族の予定 24) 家族の今後・将来のこと 25) 行きたい店や場所 26) 家族それぞれの、外での人間関係 27) 恋愛、異性関係 28) その日や最近、家族が経験した出来事 29) 私に不要な情報、私の聞きたくなかったこと	14) 服装・アクセサリ・髪型 15) 食べ物・飲み物・菓子・デザート 16) 部屋・家・庭 17) 健康や体調 18) 社会常識、礼儀、モラル 19) ペット 20) 趣味、娯楽 21) 情報通信機器 (スマートフォン、パソコン等) 22) 天気 23) 私の予定 24) 私の今後・将来のこと 25) 行きたい店や場所 26) 私の、外での人間関係 27) 恋愛、異性関係 28) その日や最近、私が経験した出来事 29) 家族に不要な情報、家族が聞きたくなかったこと
行為・気持ち	
30) 感謝を口にされる 31) 私の話を聞いてもらう 32) 疲れをとるためにマッサージ・肩もみ等をしてもらう 33) 私の用事に、付き合ってもらう 34) 送り迎えをしてもらう 35) 私のやってきたことを“誇り”に思ってもらう 36) 私が「嫌だ」と思うことをされてしまう	30) 感謝を口にする 31) 話を聞いてあげる 32) 疲れをとるためにマッサージ・肩もみ等をしてあげる 33) 用事に、付き合ってあげる 34) 送り迎えをしてあげる 35) 家族のやってきたことを“誇り”に思う 36) 家族が「嫌だ」と思うことをしてしまう
時間 (やってもらう)	
37) 宿題や仕事 38) 洗濯、衣類の管理 39) 食事の用意・片付け 40) 掃除、ゴミ捨て 41) 行列に並んでもらう、席を取ってもらう、予約してもらう 42) おつかいに行ってもらう	(やってあげる) 37) 宿題や仕事 38) 洗濯、衣類の管理 39) 食事の用意・片付け 40) 掃除、ゴミ捨て 41) 行列に並ぶ、席を取る、予約する 42) おつかいに行く

実施された。有効回答者数は400人だった (有効回収率 87.9%)。

信頼性係数  $\alpha$  は .896 だった (n=400)。

表6 家族やりとり尺度：簡易版 ( $\alpha = .896$ )

もらう	あげる
1) 手紙	1) 手紙
2) 電子メール、SNS メッセージ	2) 電子メール、SNS メッセージ
3) プレゼント、贈り物	3) プレゼント、贈り物
4) 金銭 (褒美やお礼を含む)	4) 金銭 (褒美やお礼を含む)
5) 健康や体調に関する情報	5) 健康や体調に関する情報
6) 社会常識、礼儀、モラル	6) 社会常識、礼儀、モラル
7) 私の話聞いてもらう	7) 話を聞いてあげる
8) 感謝を口にされる	8) 感謝を口にする
9) 宿題や仕事 (を手伝ってもらう)	9) 宿題や仕事 (を手伝ってあげる)
10) 食事の用意・片付け (をやってもらう)	10) 食事の用意・片付け (をやってあげる)
11) 洗濯 (をやってもらう)	11) 洗濯 (をやってあげる)
12) 家の掃除 (をやってもらう)	12) 家の掃除 (をやってあげる)
13) 行列に並んでもらう、予約してもらう (自分の代わりに)	13) 行列に並び、予約する (家族の代わりに)

## 5 結び

以上、本稿では3つの尺度の包括版と簡易版それぞれを提示した。両者は、時と場合によって使い分けることが賢明である。

包括版に関して、長所は全側面を網羅的に扱うことであるが、短所は回答に時間を要するため、回収率の低下が懸念されることである。一方、簡易版の長所は、有効と思われる項目を抜粋しているため、コストが低いこと（回答時間が短い等）であるが、短所は、全側面を網羅できていないために、漏れる側面がある点である。

とはいえ、本稿でみたように簡易版であっても、信頼性係数 $\alpha$ の数値をみる限りでいえば、使用するに十分に値する。今後は、本稿で取りあげた尺度の間の関係性を、統計分析によって検証していく作業が必要となろう。

### 謝辞

本研究助成における共同研究者の安田節之先生と田中研之輔先生（ともに法政大学キャリアデザイン学部教授）には、折々でご協力頂きました。ここに深謝申し上げます。

### 注

- 1) いずれも筆者のオリジナル尺度。
- 2) 法政大学キャリアデザイン学会研究助成（2020～

2022年度、代表斎藤嘉孝）による。

- 3) モニターへのアクセス、質問紙の配布・回収における作業は、調査会社 Syno Japan（在鎌倉市）に委託した。
- 4) 外れ値の削除をおこなったため、分析対象となる $n$ は477になった。
- 5) この尺度の理論的背景として、関連先行研究を以下3つの系譜に整理する。①「Expressiveness」の系譜。家族内に生じる「感情の表現」が主たるテーマ。具体的な項目は、褒める、感謝を示す、腹を立てる、嫌な面を気にする、ずるいと思う、等。Halberstadt (1986) や、その後の研究による（例：Halberstadt et al. 1995, Kolak & Volling 2007, Dew & Wilcox 2013）。②「Relational maintenance behavior」の系譜。一種の戦略的な視点から、家族の「関係を維持する行動」が主たるテーマ。具体的な項目は、笑顔を見せる、優しい目つきで接する、気遣った言動をする、話を聞く、等。Stafford & Canary (1991) や、その後の研究による（例：Stafford et al. 2000, Guerrero & Bachman 2006, Stafford 2011）。③「Forgiveness」の系譜。先の2系譜ほど多く報告されていないが、Fincham & Beach (2002) や Fincham et al. (2006) 等。家族成員を「許す」ことに関して、他の項目と交えつつ、局所的に扱われた。

## 引用文献

- Dew, J. & W.B. Wilcox (2013). Generosity and the Maintenance of marital quality, *Journal of Marriage & Family*, 75, 1218-1228.
- Fincham, F.D., & S.R.H. Beach (2002). Forgiveness in marriage: Implications for psychological aggression and constructive communication, *Personal Relationships*, 9, 239-251.
- Fincham, F.D., J. Hall, & S.R.H. Beach (2006). Forgiveness in marriage: Current status and future directions, *Family Relations*, 55, 415-427.
- Guerrero, L.K., & G.F. Bachman (2006). Associations among relational maintenance behaviors, attachment-style categories, and attachment dimensions, *Communication Studies*, 57(3), 341-361.
- Haberstadt, A.G. (1986). Family specialization of emotional expression and nonverbal communication styles and skills. *Journal of Personality & Social Psychology*, 51(4), 827-836.
- Haberstadt, A.G, J. Cassidy, C.A. Stifter, R.D. Parke, & N.A. Fox (1995). Self-expressiveness within the family context: Psychometric support for a new measure. *Psychological Assessment*, 7(1), 93-103.
- Kolak, A.M., & B.L. Volling (2007). Parental Expressiveness as a moderator of coparenting and marital relationship quality. *Family Relations*, 56, 467-478.
- Stafford, L. (2011). Measuring relationship maintenance behaviors; Critique and development of the revised relationship maintenance behavior scale, *Journal of Social & Personal Relationships*, 28(2), 278-303.
- Stafford, L., & D.J. Canary (1991). Maintenance strategies and romantic relationship type, gender and relational characteristics. *Journal of Social & Personal Relationships*, 8, 217-242.
- Stafford, L., M. Dainton, & S. Haas (2000). Measuring route and strategic relational maintenance: Scale revision, sex versus gender roles, and the prediction of relational characteristics. *Communication Monographs*, 67(3), 306-323.